



12 資源の循環
環境責任

「ロス電線」の銅を再利用

ワイヤーハーネスの製造では、電線を切断した際に電線の切れ端である「ロス電線」が発生します。1か月に約200kgほど発生するこのロス電線の多くには、銅が使用されているためそのまま廃棄せず、資源として再利用します。



ワイヤーハーネスは数百本の電線や周辺機器に接続して電気を伝える端子・コネクタで構成されています。膨大な量の電線を複雑に組み合わせる作業が求められるため、電線の切断や端子の圧着など、機械による作業が可能

ロボットを活用した効率的な作業遂行



鹿児島部品 株式会社

まちのおしごと

やってみたい仕事が見える!

VOL.25

ものづくりの心で
世界品質の製品を提供

弊社は世界45か国で自動車部品や生活環境機器の製造・販売を行う、矢崎総業株式会社の関係会社として平成元年に吾平町上名で開業し、その翌年に現在の吾平町麓に移転しました。

主な事業としては、ワイヤーハーネス（自動車用組電線）の製造・設計を行っています。ワイヤーハーネスとは、自動車の神経・血管に例えられる電線の束のこと。自動車は安全性や利便性を実現するために、数多くの電気・電子機器が使用されています。ワイヤーハーネスはこれらの機器に電力を供給し、信号と情報を伝送する役割を担っています。

弊社では、自動車のドア部分に取り付けるワイヤーハーネスを中心に製造を行っています。自動車は購入者によってオプションが異なることから、ワイヤーハーネスの配列も多種多様。そのため製造を完全に機械化することは困難

鹿児島部品 株式会社
齋藤 崇人 社長



であり、人間による手作業が求められます。ワイヤーハーネスの製造には多くの人員が必要となることから、年齢や性別を問わず幅広い世代の従業員が勤務しています。子育て世帯やシニア世代も多く、多様な働き方ができるよう福利厚生の実施に力を入れています。

近年、ワイヤーハーネスの生産工場の多くは人件費が安価な海外に展開されており、国内での製造はごく少数に限られています。そのような状況下でも、日本人のきめ細やかなものづくりの心で、価格だけではなく、品質にもこだわった製品を提供し続けていきます。

な工程では積極的に機械化を図っています。また、近年目覚ましい発展を遂げているAI技術の導入を目指し、独自開発したロボットを活用して作業に必要な端子・コネクタ等を自動で選択・提供してくれる仕組みを作りました。これにより作業時間の削減やヒューマンエラーの防止につながっています。



▲自社開発したロボット。設計画面に基づき、必要な部品を迅速に提供してくれる

自動化を進めつつ、人と機械の作業バランスを取りながら企業運営を行っています。



鹿児島部品 株式会社

- 住所 鹿屋市吾平町麓 4245-2
- 電話 0994-58-5000
- 設立 平成元年 ○代表者 齋藤 崇人
- 従業員数 239人
- 平均年齢 44.2歳
- 採用実績 5人（令和5年度）
- 福利厚生 各種保険（雇用、健康、厚生年金、労災、通勤手当）



楽食酒場 Re:quest

〒893-0014
鹿屋市寿2丁目14-29
☎0994-45-5352
店休日 水曜日
営業時間 18:00～24:00



先日、利用させていただいたのが「楽食酒場 Re:quest」さんです。お店の雰囲気が高く、個室居酒屋なので落ち着いて食事を楽しんだり、談笑したりすることが出来ます。

おすすめのメニューは「鳥の刺し盛り」で、ほんのり甘いお肉はかみしめるほどに旨みが広がり、お酒と一緒に食べるとより楽しめると思います。

他にも絶品メニューが満載でとても素敵なお店ですので、ぜひ皆さんも訪れてみてはいかがでしょうか。

おすすめスポット

後工程課 ラインリーダー
堀 清隆 さん
(入社9年目)

肝付町出身、旭原町在住の31歳。好きなことはおしゃべりをするので、毎月のように市外にショッピングに行くほど、洋服には目が無い。



私は、ワイヤーハーネスを製造するラインの責任者をしています。製造に必要な電線・端子の在庫管理や人員配置など、効率的にラインが回るようにサポートを行うのが主な業務です。職場はラインで作業を行うので、みんなで助け合う雰囲気があり、協力し合いながら仲良く業務を行っています。ベテランの人が新人をサポートする体制もあり、働きやすいと感じています。

今は一つのラインを管理していますが、ゆくゆくは全体を管理し、会社全体をより良くしていけるような立場を目指して、今後も業務に励んでいきたいです。

私の仕事